

YMCA学院 医療事務管理学科開設20周年 人間性豊かな医療事務のスペシャリストを養成



忙しい中でも笑顔とやさしさ、思いやりを忘れな
い、人間性豊かな
医療事務の専門職
養成にこれからも
努めて参ります。
学院長 堤 弘雄

熊本YMCA学院医療事務管理学科は、今年開設20周年を迎えました。お支えいただいている皆様に心より感謝申し上げます。また、1027名もの卒業生を医療現場や関係施設に向けて輩出できましたことを誇りに思っています。

YMCA学院では、技術や資格取得と同時に、医療現場で求められる人格の形成に特に力を注いできました。「自分を愛するように隣人を愛すること、自分がしてほしいことを相手のために行うこと」のできる人材の育成を、キリスト教学やボランティア体験、キャンプ、シンガポール研修等を通して行ってきました。様々な場面での気づきや経験によって、多文化共生や平和の大切さなど、自分中心でなく社会とのつながりにについても関心を持ってもらえるよう働きかけています。また、2008年には熊本県下唯一の診療情報管理士認定校として認められ、さらなるニーズに応えうる人材の輩出に努めています。

現場は決して妥協が許されない、常に真剣勝負の場所。働く人たちにとっては心身ともに厳しい環境でもあります。その意味で、医療事務に携わる人には堅固さも必要でしょう。医療機関では、心身ともに健康な人材を求めています。

医療の現場では、よりきめ細かなサービスが求められるにつれ、業務も細分化されてきています。医療の中核を担ってきた医師や看護師に加え、検査技師、臨床工学技師、理学療法士、さらに診療情報管理士などの専門職がそのニーズに応えています。医療技術の高度化、あるいは高齢化による医療への需要増加も顕著な傾向である一方、医師や看護師は不足しています。

こうした現状で求められているのが、医療事務職。仕事量が増え、細分化されているのに人材が不足している状況で、専門以外の業務は委ねようという流れの中、専門職が力バリーしきれない部分をフォローし、業務の負担を軽減させることも医療事務職の重要な役割と言えます。

そのためには、豊かな人間性と幅広い順応力が求められます。多くの専門職の人たちと接しながら、柔軟に対応できる力です。また、医療の現場は決して妥協が許されない、常に真剣勝負の場所。働く人たちにとっては心身ともに厳しい環境でもあります。その意味で、医療事務に携わる人には堅固さも必要でしょう。医療機関では、心身ともに健康な人材を求めています。



医療法人社団愛育会福田病院理事長
熊本県医師会会長
熊本YMCA常議員
福田 稔しげおさん

求められる人間性と堅固さ

私が診療情報管理士の業務に就いて13年が経ちました。熊本YMCA学院が、日本病院会の診療情報管理士認定校となった翌年から国際疾病分類の授業を受け持っています。

診療情報管理士は、診療記録(カルテ)を管理し、そのデータを抽出・加工・分析し、地域医療や病院経営、研究資料などに役立てる業務を行っています。患者様と接する機会は多くありませんが、医療を支えるとても重要な役割を担っています。そのため、幅広い知識とチーム医療の一員としてコミュニケーション能力が求められます。特に診療記録は個人情報ですので、個人のモラルも問われます。また、業務に就いても継続的に学ぶことが求められますので、YMCA学院ではそのような業務に対応できる人材を育成する必要があります。

学生にとっては初めて見る専門用語が溢れているので、最初は大変苦戦しているようですが、3年の間にずいぶん成長します。これから現場で求められる人材として活躍することを期待しています。また、2月に行われる認定試験に全員が合格することを祈念しています。

私が診療情報管理士の業務に就いて13年が経ちました。熊本YMCA学院が、日本病院会の診療情報管理士認定校となった翌年から国際疾病分類の授業を受け持っています。

診療情報管理士は、診療記録(カルテ)を管理し、そのデータを抽出・加工・分析し、地域医療や病院経営、研究資料などに役立てる業務を行っています。患者様と接する機会は多くありませんが、医療を支えるとても重要な役割を担っています。そのため、幅広い知識とチーム医療の一員としてコミュニケーション能力が求められます。特に診療記録は個人情報ですので、個人のモラルも問われます。また、業務に就いても継続的に学ぶことが求められますので、YMCA学院ではそのような業務に対応できる人材を育成する必要があります。



熊本託麻台病院診療情報管理士
YMCA学院非常勤講師
松本 仁美さん

医療を支える重要な役割

医療事務の仕事は、医療技術の進歩や2年に一度の点数改正など、常に新しい情報への対応が必要になります。常に学ぶべきことがあることも、この仕事のやりがいですね。

YMCA学院の医療秘書科(名称は当時のもの)を卒業後、現在の職場で18年間医療事務として働いています。

YMCA学院に通った2年間で、検査や薬のことなど医療の基礎をしっかりと学ぶことができました。それが医療に携わる私の原点になっています。例えば、今は自動計算が当たり前になっています。明細書なども、授業では一つ一つ書きし手計算していたからこそ、細かい点まで理解できたと思います。現場に出て、いかに基本が大切かを痛感しています。また、接客についてもしっかりと基本を叩き込まれました。接遇マナーを身に付けられたことが、就職してから社会人としてとても役に立ちましたし、自信にもつながりました。さらに、2度の実習では現場の厳しさや楽しさを経験。結果的に実習先に就職することができたということもあって、実習は私にとって大変貴重な体験になりました。

医療事務の仕事は、医療技術の進歩や2年に一度の点数改正など、常に新しい情報への対応が必要になります。常に学ぶべきことがあることも、この仕事のやりがいですね。



西村内科脳神経外科病院医療事務
YMCA学院卒業生(2期生)
木村 真由美さん

基本を学ぶことが大切

THE YOUNG MEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION

YMCA

K U M A M O T O

NEWS



December 2012
vol.487

12



水上フェスティバル

- C O N T E N T S**
- ① YMCA学院 医療事務管理学科開設20周年
 - ② YMCA/YWCA合同祈禱会
熊本市障がい者社会交流促進事業
チャリティブチ駅伝大会
 - ③ 水上フェスティバル・サッカーフェスティバル
アガベNo.81「花のような人生」
REPORT 前進祭・東部祭
 - ④ Life 第52回 チャイルドラインくまもと
代表 藤岡耕子さん①
Topics リフレスおおむた 山野草盆栽教室
むさしYMCA クリスマス祝会
学院 表現・コミュニケーション学科

わたしと聖句



ローマの信徒への手紙5章11節
今やこのキリストを通して和解させていただいたからです。

造り主と和解しなさい

水俣。私は水俣カトリック教会の幼稚園に通っていました。右にチッソを見ながら真っ直ぐ一本道、突き当たったところにそれはありました。子ども

の頃、私が母と町を歩いていると、レストランのドアの前ですれ違う人に

遭遇しました。私は思わず振り返り、「あの何人？」と母に聞くと、母は無言のうちに私をとがめたものでした。幼稚園児だった私は、教会内の十字架を見て、仲間だと思いました。

時が経って、高校3年生の終わり頃に、プロテスタント教会に通いはじめました。牧師先生が言うには「罪人の身代わりのためにキリストが十字架にかかって贖罪の死を遂げられた。この方こそ私を罪から救う救い主です」と。戸惑いました。仲間だと思っていたら敵となっていたのです。聖なる神の御怒りにあって亡びてもおかしくない自分のためにキリストが身代

わりになられた。悪から離れ、イエス・キリストを信じなさい。「神と和解しなさい」これが福音の宣告なのでした。

聖書は、人間を造った造り主がおられるといえます。私はつくづく思います。「造り主と和解する」という大きなテーマを、現代人は忘れていないのか。この造り主との和解なくして、私たちの真の解決、真の回復はないのではないのでしょうか。

日本バイブルプロテスタント基督教教会
人吉聖書教会
森下 薫

YMCA/YWCA合同祈禱会

世界のYMCA・YWCAでは、11月の第2日曜日からの一週間を合同祈禱週として、毎年一つのテーマのもとに、祈りを共にする時を持っています。今年は「暴力に勝利はないー人権と尊厳の尊重を目指して」をテーマに皆で考え、取り組むことができるよう、祈りと学びの時を持ちました。11月17日(土)に開かれたYMCA/YWCA合同祈禱会で奨励された石原明子さんのお話の一部をご紹介します。

原発災害・戦争と女性や少女への暴力ー平和学の視点から

援していく必要があります。



石原 明子さん(写真奥左側)
熊本大学大学院社会文化科学研究科准教授
交渉紛争解決学・平和構築学専門

国家や組織間などで起こっている紛争の解決に向け、その中で虐げられている人々の潜在的な力を最大限に活用し、共に生きていく社会づくりのためにできることを考える紛争解決学・平和学を研究しています。今年の夏まで、アメリカのメノナイト大学の大学院で平和構築学を学びました。メノナイトは世界の平和活動をリードしている平和主義キリスト教派です。昨年ノーベル平和賞を受賞したリーマ・ポウウィーさんは卒業生。彼女はリベリアの紛争地域で市民レベルでの活動を行い、戦争終結を実現させました。21世紀は同じ国の人同士が殺し合う内戦の時代。被害者はもちろん、暴力を振るうことを強要された少年兵をはじめとする加害者も傷ついています。加害者と被害者は対話を通して起こった暴力に互いに向き合っ関係性を修復し、私たちは苦難の中にある人々の声を聞き、支

YMCA学院老人ケア科障がい者交流デイキャンプ



10月30日(火)、阿蘇YMCAを拠点としてYMCA学院老人ケア科の学生と障がいのある人たちが参加するデイキャンプが行われました。在宅の障がいのある人に自然や地域との交流の機会を提供することや障がいのある人の立場の理解・啓発を目的とした熊本市の「障がい者社会交流促進事業」の委託を受け、43名の参加者と学生、職員を合わせた約110名が集いました。

午前中はYMCA赤水保育園で園児と交流。阿蘇YMCAではネイチャー

ゲームやピザ作りを行い、昼食のバーベキューの後はおたごえ広場として歌や音楽を楽しみました。盛りだくさんのプログラムに、参加者や学生の笑顔が見られました。

参加者は年齢も障がいも様々。

「若い人とふれあえてよかった」「また来年も参加したい」など、参加者からはうれしい感想が聞かれました。学生たちは事前に手話や指文字を復習しており、聴覚障がいのある参加者から「あなたは手



話が上手」と声をかけていただくこともありました。学生たちにとって、人との関わりや伝わる喜びなど、気づきが多いキャンプになったようです。

YMCA学院 老人ケア科

吉田しのぶ

YMCAフィランソロピー協会 思いをつなぐプチ駅伝



11月3日(土祝)、菊陽杉並木公園さんさんふれあい広場で「第17回チャリティプチ駅伝大会」が開催されました。児童養護施設や病院で過ごす子どもたちにクリスマスプレゼントを贈るため、YMCAフィラン

に加え、児童養護施設の藤崎台童園・菊水学園の子どもたち、この夏「交流デイキャンプ」でともに過ごした水俣市の光明童園の職員も加わり、秋晴れのもとさわやかな汗を流しました。

競技は予想したゴールタイムを目

指して走る宣言タイムレースで、2.5kmを5名のリレーで走るレギュラーコースと、ラムネ飲みと別チームの参加者とペアでお題に挑むチャレンジコースの2コース。着ぐるみやお面、戦隊ヒーローなど、思い思いのコスチュームもレースを賑やかに彩りました。「子どもたちの笑顔につながる素晴らしい取り組み。今後も続けて参加したい」とNTT西日本熊本支店の橋本和久さん。

「いろいろなコスプレが楽しかった」「みんなと一緒に一生懸命走りまわった」と参加した子どもたちにも笑顔があふれました。



優勝チームは、プレゼントとなってクリスマスプレゼントを待つ子どもたちのものを訪問します。

アガベ No.81

総主事
堤 弘雄

花のような人生

渡辺和子さん(ノートルダム清心学園理事長)は著書「置かれた場所で咲きなさい」(幻冬舎)で「時間の使い方は、そのまま、いのちの使い方なのです。置かれたところで咲いていてください」と語りかけています。また、このように書かれています。「結婚しても、就職しても、子育てをしても、『こんなはずじゃなかった』と思うことが、次から次に出てきます。そんな時にも、その状況の中で『咲く』努力をしてほしいのです。どうしても咲けない時もあります。雨風が強い時、日照り続きで咲けない日、そんな時には無理に咲かなくてもいい。その代わりに、根を下へ下へと降ろして、根を張るのです。次に咲く花が、より大きく、美しいものとなるために。」

さて、私たちの人生において「咲く時」とはどのような時でしょうか。「咲く」と言えば「花」を思い浮かべます。花が咲いて散るまでの生涯は極めて短いものですが、花は私たちを楽しませ、幸せな気持ちにさせてくれます。また、悲しい気持ちを慰めてくれます。私たちが人生において「咲く時」とは、私たちが誰かを楽しませ、幸せにして、慰めることができる状態を指しているのかもしれませんが、渡辺和子さんが述べられているとおり、人間はいつも咲いていることはできない存在であり、どうしても咲けない時が多い存在です。人間は自分を愛することができない時には人を愛することができない弱い存在です。「そんな時には、無理に咲かず、根を下へ下へと降ろして、根を張ればよい」のです。花の根は、地上に花が咲いていない時も、暗い地下にあって、土から水分と養分を得ながら、次に花を咲かせる時までじっと大切な準備の時を過ごします。きっと人間も同じようなものなのでしょう。人を許すこと、自分を許すこと、神様から赦されていること、愛されていること、そして愛することなどのエネルギーを、ゆっくりと吸収して、やがて地上に美しい花を咲かせる存在なのかもしれません。

最後にジェラール・シャンドリの名言を紹介させていただきます。

「私たちが一生を終えてこの世に残るものは、生涯をかけて集めたものではなく、生涯をかけて与えたものである。」

水上フェスティバル

2012年11月18日(日)

会場/みなみYMCA

プール

子どもたちは、緊張しながらも日頃の成果を発揮し、精一杯の泳ぎを披露しました。



ユーススポーツフェスティバル

サッカーフェスティバル

2012年11月23日(金・祝)

会場/菊陽杉並木公園さん

スポーツ広場

試合のほかに親子サッカークリニックなどのブースが設けられ、家族でサッカーを楽しみました。



Report

大盛況だったYMCA祭

11月11日(日)、中央YMCA「前進祭」が開かれました。食バザーやのみの市が地域のみなさんで賑わい、一新幼稚園の園児による太鼓演奏や中央YMCAキッズHIP-HOPチームの演技などが注目を集めました。また、寄贈品の収集にも協力した吉本興業の「もっこすファイヤー」の二人が来場して祭りを盛り上げ、その様子が後日テレビタミヤ(KKT)で放送されました。

11月18日(日)に開催された東部YMCA「東部祭」は晴天に恵まれて多くの来場者を迎えました。オープニングセレモニーでは水前寺幼稚園の園児による歌や演奏が披露されました。来場者は水餃子や韓国海苔巻き、タイカレーなどの国際色豊かな食バザーを味わい、学生たちによるダンスやバンド・マリンバ演奏などを楽しみました。

前進祭



東部祭



訂正とお詫び

本紙Vol.486において左記の誤りがありました。読者および関係各位にお詫びするとともに訂正させていただきます。
(誤)岡村光洋さん (正)岡崎光洋さん

スポーツ

野外活動

教育・生涯学習

保育

福祉

発達障がい支援

国際理解

地域活動・ボランティア

ユース

キリスト教

研修

キャラクターティベロップメント

フィランソロピー協会

ワイズメンズクラブ

Life

第52回

“いのち”“生活”
“いきがい”をテーマに
したメッセージ。



チャイルドラインくまもと
☎096(211)5117
代表

藤岡 耕子さん ①

一人で悩み、苦しまなくてよいように 子どもの話を傾聴し、こころを受け止める

「チャイルドライン」は、18歳までの子ども専用のホットラインです。電話をかけてきた子どもの話や相談を傾聴し、言葉の奥にあるこころを受け止める活動です。北ヨーロッパで発祥し、日本では1998年に始まり、全国に発展。熊本県全域での活動は2008年5月に始まり、これまでに対話した件数は3000件を超えました。電話は毎週月・金曜日の16～21時に受け付けています。話は匿名で行い、子どもたちの声を聴いて、その気持ちに寄り添うことを大切にしています。

相談内容は人間関係、いじめに関する悩みが大半です。今、子どもを取り巻く環境は大人が想像している以上に過酷で、いじめは陰湿で複雑です。しかし、ほとんどの子どもが、「周囲の大人はきちんと耳を傾けてくれない」「忙しいお母さんに心配をかける」などの理由で一人で悩み、苦しんでいます。また、年齢が高くなるにつれて悩みは深くなり、私たちとの対話の時間は長くなります。そのような状況に置かれた子どもにはいくつもの「心の扉」があり話を聴くことで少しずつ扉が開いていきます。そして、最後の扉を開けてくれた時にやっと本音が分かる場合もあります。すると私たちにも声が明るくなるのが分かります。喜びを感じることもできる瞬間です。(つづく)

クリスマス祝会・礼拝

イエス・キリストの生誕を祝うクリスマス祝会・礼拝が各YMCAで開催されます。YMCAの仲間と一緒に、楽しいひと時を過ごしませんか。詳しい内容のお問い合わせやお申込みは各YMCAまで。

みなみYMCA	9日(日)15:00～17:00	みなみYMCA体育室
上通YMCA	9日(日)17:30～21:30	SECOND SIGHT 5F
ながみねファミリーYMCA	15日(土)18:30～20:30	ながみねYMCA体育室
中央YMCA	16日(日)14:00～16:00	中央YMCAレクリエーションホール
むさしYMCA	16日(日)14:00～16:00	むさしYMCAスタジオ
常議員会クリスマス礼拝	20日(木)19:00～	熊本草葉町教会
YMCA学院クリスマス礼拝	21日(金)18:00～	日本福音ルーテル熊本教会

市民クリスマス2012 飯田さつきチャリティジャズコンサート

ジャズヴォーカリストの飯田さつきさんによるチャリティコンサートを開催します。チケットは熊本YMCA各施設で販売中です。

日 時:2012年12月18日(火) 18:00開場 18:30開演
会 場:熊本市男女共同参画センター はあもにい(熊本市中央区黒髪3-3-10)
プログラム:Amazing Grace, Santa Claus Is Coming to Town(サンタが街にやってくる)、星に願いを 他
チケッ ト:大人2000円 学生以下1000円

お問合せ/市民クリスマス実行委員会事務局
熊本YMCA TEL 096-353-6397 FAX 096-324-7877

TOPICS 地域YMCAにまつわる人・モノ・場所などを順番にご紹介します。

ポン de 串

高校



11月に行われた前進祭で、表現・コミュニケーション学科は、たこ焼き器を使ったおやつ「ポン de 串」を販売しました。写真は事前に作る練習をした時のものです。全員で生地 hardness のチェック、入れる具の味見をしました。その後、担当する時間や役割を話し合い、当日に備えました。

前進祭では生徒一人ひとりがそれぞれの役割に懸命に取り組み、みんなの頑張りが予想以上の売上につながりました。来年の前進祭での取り組みが楽しみです。

表現・コミュニケーション学科 福山裕敏

クリスマス祝会

むさし



むさしYMCAでは、12月16日(日)のクリスマス祝会に向けてスタッフ・リーダー一同、準備に奮闘中です。当日は日本キリスト教団武蔵ヶ丘教会の宮川経範牧師によるクリスマス礼拝をはじめ、リーダーたちによる楽しい劇やパネルシアター、ゲームなど盛りだくさん。イエス様の生誕をみんなでお祝いし、たくさん子どもたちが楽しいクリスマスを迎えて心豊かに過ごしてほしいと願っています。頑張っているリーダーたちの姿をぜひ見に来てください。

むさしYMCA 丸内陽子

山野草盆栽教室

リフレス



リフレスおおむたでは、12月16日(日)に恒例の山野草盆栽教室を開催します。今回はお正月向けの寄せ植えを作ります。この教室は、現在講師をされている方のご好意でロビーに飾っていた苔玉をご覧になった施設利用者の皆さんが「ぜひ教えてほしい」と希望されたことがきっかけとなって始まりました。今ではリフレスを代表する人気講座に成長しています。これから場所の提供だけでなく、人と人とのつながりも提供できる施設づくりを目指していきたいと思っています。

リフレスおおむた 生見栄治

Kumamoto YMCA Network

中央YMCA	☎096-353-6391	ながみねファミリーYMCA	☎096-385-0676
YMCA学院	☎096-353-6393	むさしYMCA	☎096-248-6334
YMCA学院高等学校	☎096-353-6391	阿蘇YMCA	☎0967-35-0124
本部事務局・ICR	☎096-353-6397	赤水保育園	☎0967-35-0024
みなみYMCA	☎096-378-9370	尾ヶ石保育園	☎0967-32-0213
上通YMCA	☎096-352-2344	永草保育園	☎0967-32-0810
東部YMCA	☎096-382-6661	黒川保育園	☎0967-34-0402
水前寺幼稚園	☎096-362-4141	リフレスおおむた	☎0944-58-7777



思いやり 誠実さ 責任感 尊敬心 キャラクター・ディベロップメント推進中

水前寺幼稚園では、キャラクターディベロップメントの価値を取り入れた毎月の約束を子どもたちと決めて、その目標に向けて頑張ったお友だちをクラスで表彰しています。

11月はネスティのキャラクターにあわせた青色のメダルを作りました。メダルの裏には表彰されるお友だちの名前と頑張ったことに対するメッセージを添えています。周りの子どもたちも刺激を受け、次の意欲へとつながっているようです。(水前寺 下本)



【基本聖句】喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマの信徒への手紙12章15節)

熊本YMCAの使命

共に生きる社会
ウェルネス活動

地球環境の保全
ボランティア活動

生涯学習の推進
平和な世界

■ホームページ www.kumamoto-ymca.or.jp

■メールマガジン登録
www.kumamoto-ymca.or.jp/cgi-bin/mail/mail.cgi

